

12月25日 教育子ども委員会（青木ともこ委員・さいとう愛子委員）

**請願  
審査**

## 小学校給食の民間委託撤回を求める請願は「不採択」 「私学助成制度堅持」は「財勘採択」に

12月25日の教育子ども委員会で、「小学校給食調理業務の民間委託撤回を求める請願」及び「私立高校生に対する授業料助成制度の堅持・拡充を求める請願」が審査されました。

### 退職者不補充なので委託が必要

給食調理業務の民間委託反対の請願について、日本共産党は安心・安全でおいしい給食を守るためにも請願の採択を求めましたが、教育委員会は「退職者不補充の体制で給食を進めるには民間委託が必要」とか「教育委員会で一括管理した調理方法や衛生管理方式、

統一献立表に基づく調理をしている」として、「不採択」「趣旨実現のため審査打ち切り」とされました。

### 陳情3件はいずれも「ききおく」に

各常任委員会での陳情審査の結果（12/22～27）

委員会	開催日	陳情名	結果
経済水道委員会	2017年12月22日	名古屋市民情報センターと情報公開請求の受付のサービスを向上させることを求める陳情（5時半までと昼休みも受付を）	ききおく
総務環境委員会	2017年12月26日	名古屋市旅費条例の改正を求める陳情（領収書添付の実費支給に）	
都市消防委員会	2017年12月27日	名古屋市が指定する指定緊急避難場所・指定避難所等に特設公衆電話を事前設置することを求める陳情	

請願審査の結果（2017年12月25日 教育子ども委員会）

請願名（請願者）	請願項目	各会派の態度					結果
		共	自	民	公	減	
小学校給食調理業務の民間委託撤回を求める請願（なごやの学校給食をよりよくする会） （署名数 10,991名）	1 学校給食調理業務の民間委託を拡大しない	○	●	●	●	●	不採択
	2 荒子、大清水、西山、山田、瀬古、下志段味、桶狭間、天白の各小学校給食調理業務を直営に戻す	○	●	●	●	●	
	3 技術の継承で安全・安心・おいしい給食の提供を	○	▲	▲	▲	▲	審査打ち切り
	4 食育に活用できる、開かれた学校給食に	○	▲	▲	▲	▲	
	5 給食調理業務を経費削減の対象としない	○	●	●	●	●	不採択
私立高校生に対する授業料助成制度の堅持・拡充を求める請願（愛知私学助成をすすめる会）	1 市独自の私立高校生授業料助成額は県の助成額変更に伴い、これまでの算定方式では正・増額する	○	○	○	○	●	財勘採択

○=賛成 ●=反対 ▲=打ち切り 共：日本共産党 自：自民党 民：民進党 公：公明党 減：減税日本ナゴヤ

12月27日 財政福祉委員会（山口清明委員・柴田民雄委員）

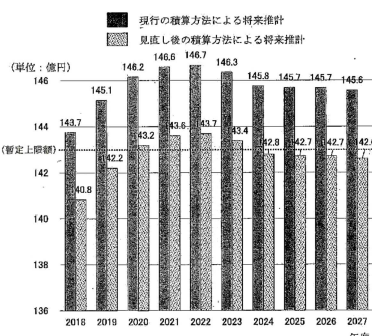
**敬老  
パス**

## 上飯田連絡線は「償還払い方式」で実現可能に 試算みなおして10年間は現行制度維持できる

12月27日の財政福祉委員会に「第5期名古屋市障害福祉計画(案)」と「持続可能な敬老パス制度の構築に向けた考え方の方向性」について報告がありました。

### 上飯田連絡線への拡大には1700万円

敬老パスの今後について、①上飯田連絡線への利用拡大については味鋤駅で乗降した場合に限ってマナカによる償還払い方式で実現可能。経費は約1700万円②2003年度の



事業費138億円に消費税を加えた142億円を上限額としている点については、今後10年を見ずると、一時的にはオーバーするが、交通局への負担額の試算見直しでおおむね上限に収まること③名鉄やJR等への拡大には約9億円必要で、交通局の利用拡大のもつながら、などの点が説明されました。

事業費138億円の際は自己負担ゼロでしたが今は10億円を負担しています。対象交通の拡大で交通局自身も利用拡大することなども踏まえた積極的な対応を求めました。

### 敬老パスの拡大に必要な事業費推計

名鉄全線	3.8億円
近鉄	0.7億円
JR全線	1.0億円
市営交通	3.2億円
合計	8.7億円

財政福祉委員会資料より